



情報誌

令和4年度 第2号



地域の皆様、こんにちは。やざき乳児保育園です。日頃より、本園にご理解とご協力をいただきましてありがとうございます。今年一年間、職員全員で一人一人の子どもたちの成長を見守り、保護者の皆様、地域の皆様に信頼されるよう努めてまいりました。その中から、各クラスの子どもの様子や園の取り組みについて紹介いたしますので、ご覧ください。来年度もどうぞ、よろしくお願いたします。
※地域の皆様に、お花をいただいたり犬を見せていただいたり、芋ほりをさせていただいたりしました。感謝申し上げます。

いちご組 (0歳児)

～いろいろな遊び方を見つけたよ～

子ども達の遊んでいる様子を見ているといろいろな事を考えたり自分で面白いことを見つけたりして集中して遊んでいる姿が見られます。また、保育者が“こうしたら面白いかもしれない”と思うことを子どもの前でしてみると興味を示し真似をして自分なりに遊び始めていました。“自分で想像したり考えたりしてじっくりと遊ぶ力が育まれ“すごいな”と成長を感じています。



仕切りの線路に見立てて電車を走らせています。



お茶碗を床に打ち付けて音を楽しんだりクルクルと回る様子を見たりして集中して遊んでいます。

～お片付け 上手にできるかな?～

保育者が「おかたづけしようね～」と声かけすると子ども達もいろんな所から玩具を持って来てお片付けをしています。「ボイ」と言いながらたくさん玩具を入れることを楽しんでおり一生懸命入れる姿がとても可愛いです。

玩具をたくさん集めて箱に入れています。



ぶどう組 (1・2歳児)

～消防車 カッコいいね～

3月9日(木)に小松市消防本部の方が保育園の防災の検査のため消防車に乗って来て下さいました。消防車を間近で観察して、子ども達は興味津々。特に興味がある子は運転席に乗せてもらったり、ヘルメットや上着を着せてもらったりして、終始嬉しそうな様子でした。



わあ！
おおきいね



運転席に乗り、消防士さん気分！



ヘルメットや上着、重いな～。でもカッコいい！消防士さんですごいな～。

よりよい未来のために SDGs

段ボールで仕切りをつきました

お部屋で様々な遊びをしていると、玩具がいろんなところに散らばり、子ども達がじっくり遊べない姿がありました。そこで、ままごと・ブロック・絵本などの遊びをコーナーで分けるため、仕切りを子ども達と一緒に手作りしました。大きな段ボールにカレンダーの裏面を貼り、子ども達はそこに思い思いに絵を書きました。出来上がると自分の書いた絵を指さしてアピールする子もいました。仕切りを使って遊びの環境を整えることで子ども達はじっくりと集中して遊ぶことが出来るようになりました。



野菜くずを使って“ベジブロス”

人参や大根の皮や、キャベツの外葉、トマトのヘタやかぼちゃのわたなどの捨ててしまう野菜くずで作る野菜だし“ベジブロス”を作りました。子ども達は、保育者と一緒に皮を剥いたり、葉をちぎったりして鍋に入れ、蓋をして煮込みました。子ども達は「おいしくなあれ！」とお鍋を見守りました。30分程煮込み、蓋を開けると「いいにおい！」「大根のにおいする」と言う子がいました。漉してみると透き通った、きれいなだいたい色のスープに仕上がりました。体にも地球にも優しいベジブロス。素材そのものの味をみんな味わいました。子ども達は何杯もおかわりをしていました。



お料理体験したよ

子ども達はたくさん野菜に触れる体験をしています。ある日、保育教諭が包丁で大根を子ども達の前で切りました。そうすると自分の手を包丁に見立てて大根を切ろうとしている子どもの姿がありました。そこで牛乳パックで作った包丁とまな板を使って、軟らかく煮た野菜を切る体験をしました。みんな上手に切っていて、楽しくお料理体験ができました。

